

8
keyword

垣根を超えた協働

美容週間が行うサステイナブル活動

NPO法人美容週間振興協議会 全国美容週間実行委員会(瀧川裕史理事長／第47代みやちよしのり 実行委員長)が進めているSDGsの取り組み。石田吉信SDGs委員長を先導役に美容業界内外に向けて持続可能な開発目標を強くアピールしている。その取り組みは、環境に配慮したイベント開催や障がい者をサロンに招く仕組みづくりなど、どれも手本になるものばかり。8つのキーワードに分け解説する。

全国美容週間実行委員会
SDGs委員 委員長
いしだ よしのぶ
石田 吉信さん



01 未来をつくるステークホルダー



サステナビリティの考え方が浸透し、社会のさまざまな課題解決に向け美容業界でも少しずつ変化が起きている。美容週間においても2023年度からSDGs委員会が立ち上がり活動している。石田SDGs委員長は、美容週間の取り組みの意義としてスケールメリットを解く。

「美容業は、それ自体が人の自信や勇気を与えることができる素晴らしい業です。社会貢献性が高いといえるで

しょう。ただこうした力は、個人で行うよりも美容週間という団体で活動する方が大きいインパクトを起こせます。特に美容週間は、理美容師・メーカー・ディーラー・学校・ジャーナルと超党派の集団。普段はライバル同士でも、活動をおとして協働でき、何かを一緒に取り組むことができる。その架け橋となるのが“社会貢献”であり、業界の未来をつくるステークホルダー(仲間)となります」。

03 ヘアドネーション

社会貢献の中でも理美容室が取り入れやすいのが「ヘアドネーション」。美容週間では2023年「BEAUTY WEEK EVENT」のステージで、実際にヘアドネーションを行い、ポイントをJHD&C(ジャーダック)渡辺貴一代表理事に解説してもらった。

「ヘアドネーションは、ポイントがいくつかありますが、理美容師さんでしたら取り入れやすいため、ぜひメニュー化して欲しいです。もう一歩進めると、



注目して欲しいのがウィッグのカット。まだまだできる理美容師が少なく、無毛症の方に必要なウィッグカットはこれから解決していききたい課題ですね」。

04 マイボトル



サステイナブルなイベント開催を行う美容週間。コンテストでは、トロフィーにもひと工夫した。

「トロフィーに替わって金銀白のマイボトルを贈呈しました。昨年は、デジタル表彰状も渡しています」。



デジタル表彰状



イベントで使われる電気

- 人の移動で使われる電気
- ステージなどの照明
- ドライヤー
- BGMの音響や映像配信
- エアコンや空調
- 水道を汲み上げる電気
- …etc.

02 カーボン・オフセット

美容週間では、2023年からイベント「BEAUTY WEEK EVENT」「マスタートーズカップ」で排出されるCO₂をカーボン・オフセットしている。

「理美容業界のイベントでは初の取り組みでした。美容週間では9月4日“くしの日”を中心にした1週間をBeauty Weekとし、さま

ざまなイベントをしており、その軸となるのが『BEAUTY WEEK EVENT』。そこでステージを設け、大川印刷さんから、カーボン・オフセットとは何か、イベントをするとどれくらい電気を使うのかなどお話をいただきました。学びになったと同時にメディアの方たちをとおしてアピールする機会となりました」。

カーボン・オフセットとは

日常生活や経済活動で避けることができないCO₂等の排出について、排出量に見合ったクレジットを購入することで、排出を埋め合わせるという考え方。美容週間のイベントでは、排出するCO₂を事前に算定し、CO₂削減活動に投資することでカーボン・オフセットをした。



05 伝えること・知ること

「THE BEST OF BEAUTY」で受賞者が手にするのはバイオマスコーム。環境へ配慮されたバイオマス素材(植物由来の再生可能資源)による特製アイテム。再生ガラスを使ったトロフィーとともに贈呈された。

石田SDGs委員長は、長年のあいだ持続可能な社会をつくる活動をしてきた先駆者。多くの人から“美容技術者がSDGsでできることは?”の問いに答えてきた。

「それは“伝える”ことです。美容技術者は美容の先生であり、影響力のあるインフルエンサーで、ひとりひとりがメディアです。社会問題、人権、戦争、平和などについて、正しい知識を得て、それを伝えることが、社会貢献の第一歩になると思います」。



イベントごとに、有識者を招いて社会問題を訴求。写真は、2023年のマスタートーズカップでセミナーをする石田SDGs委員長。

06 I know IBD

サロンに貼るステッカー



IBDとは炎症性腸疾患(Inflammatory Bowel Disease)のことで、大腸や小腸など消化管に炎症が起こり、腫瘍など消化管に炎症が起こり、腫瘍を合併することもある疾患。主に潰瘍性大腸炎とクローン病のこと。下痢や腹痛が主な症状であるため、トイレの回数の急増や、食事の制限など生活に

さまざまな影響がある。『I know IBDプロジェクト』

「美容週間は、IBD認知・理解、IBD患者さんの課題解決のためトイレの貸し出しプロジェクト『I know IBDプロジェクト』に賛同し、パートナー団体となりました。広く認知してもらうため訴求を行ってまいります」。



08 わかるはかわる

「JBBさんの協力のもと、視覚障がい者を美容室で受け入れる場合のポイントや、カウンセリングからお見送りまで動画にしました。特にカウンセリングは参考になると思います。Instagramで配信しているので、ぜひご覧ください」。

合理的配慮の提供

2024年4月から、事業者による障がいのある人への合理的配慮の提供が義務化された。障がいのある人から「社会的なバリアを取り除いてほしい」という申し出があれば、実施に伴う負担が過重でない範囲で、バリアを

取り除くために必要かつ合理的な対応をすること。例えば、店内が撮影禁止であっても、弱視のためタブレットで撮影し拡大して確認したいと申し出があれば、撮影を認めることなど。

8
keyword垣根を超えた協働
美容週間が行うサステイナブル活動

もっと知ろう

「I know IBD」



「IBD推計患者数は約29万人。主に10～20代の罹患者が多く報告されており、現時点では完治につながる治療法がない指定難病です。頻繁にトイレに行くため“よくさぼる人”と周囲から理解が得られず疎外感を感じたり、黙っていることも。I know IBDプロジェクトに参加することで、IBD患者さんにトイレの貸し出しを行えます。申請すると、『協カトイレMAP』に掲載され、IBD患者さんはMAPを参考に計画を立て外出します。すぐにできる社会貢献なので、ぜひ参加してください」(石田SDGs委員長)

07 SPROUT



「SPROUTとは、美容週間が行う職業体験イベント。昨年は、東京と大阪で開催され、8月19日(火)には東京、9月15日(月)には名古屋を予定している。

「児童養護施設の子どもたちを招いて、シャンプーやカットなど職業体験をしてもらうイベントです。私が運営する美容室『Lond』では、定期的に児童養護施設で社会貢献活動を行っており、その関係で、

美容週間でSPROUTを企画しました。私もそうでしたが、こうした機会がないと、児童養護施設の子どもたちと接点を持つことはなかなか無いと思います。ですが日本には3万人弱の子が親と離れて暮らしています。まずは、理美容師さんにSPROUTの取り組みを知ってもらうこと。知ることこそに情熱が宿り、行動したいと思う人がひとりでも増えることが美容週間でいう意義だと感じています」。

Lond group

www.lond.jp



Lond sustainable magazine
Vol.6

CSRの取り組みが心の豊かさに繋がる

国内外に84店舗を展開する『Lond group』。2013年8月に「全従業員の仕事の幸福の追求」を掲げ、6人の共同代表のもと銀座に創業。目指すは業界年商1位、300店舗、3,000人のスケールビジョンは、今や夢ではなく、業界のリーディングカンパニーへと邁進している。

その軸となっているのが徹底した「従業員ファースト」。美容師の経済的な豊かさ、仕事に対するやりがいや誇りをもたらすとともに、社会に目を向け、先進的に“CSR”に取り組む、技術だけでなく人と心を育てる風土がある。Lond groupのCSRを統括するのが石田吉信

さん。右がその取り組みの一部だ。

「Londで最初に取り組んだCSRは、地域清掃でした。今年で8年目を迎え「#きもちいクウキ」プロジェクトとして、近隣の美容サロンさんへと広がっています。他にも、シャンプーの量り売りは、当初、美容室で行う取り組みとしては珍しかったのではないのでしょうか」。

スタッフが集まる会議では、環境や人権などの社会問題を学ぶ機会を設け、社内リテラシーを向上。社会問題が学べる雑誌『Lond sustainable magazine』を自社発行し、セット面に置いている。店舗は丸ごとサステイナブルな空間となっている。

「CSRの取り組みだけがサロンの成長に繋がるわけではありませんが、会社の取り組みが従業員のプライドになり、豊かさになると思います」。

LondのCSR活動

- 美容室から社会課題を伝える「Lond sustainable magazine」の発行
- サステイナブルな製品開発
- シャンプーの量り売り「4ℓ for 1 bottle」
- I know IBDプロジェクトに参加
- ウィーガン対応
- 再生可能エネルギーの運営
- LGBTQフレンドリーな会社づくり
- サステイナブルな製品をコラボ開発
- サステイナブルな内装
- 児童養護施設でのボランティアカット
- レジ袋廃止による脱プラ
- 全店mymizuスポット登録
- ヘアドネーション
- 地域清掃「#きもちいクウキ」プロジェクト
- エシカルな商品を積極的にセレクト
- サロン内の日常的なエコ
- 海外事業で雇用創出、海外美容師応援
- インドネシアのゴミ問題への貢献
- 海外での社会貢献
- 地域社会貢献
- …etc.